

平成 30 年度

市政モニターアンケート調査結果
【2つの世界遺産について】



長 崎 市

世界遺産推進室

1. 調査の目的

長崎市は平成 30 年 7 月に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産に登録されたことにより、平成 27 年 7 月に登録された「明治日本の産業革命遺産」と併せ、2つの世界遺産があるまちとなりました。これらの世界遺産を長崎市民にとって誇りや愛着のあるものにしたいと考えています。

そのため、遺産や各構成資産に対する市民の認知度や関心の高さについて調査することで、今後の世界遺産の周知啓発活動に生かすことを目的としています。

2. 調査の概要

調査期間：平成 30 年 8 月 8 日 ～ 平成 30 年 8 月 22 日

送付数：230 人（郵送モニター 189 人 インターネットモニター 41 人）

回答率：81.7%（188 人）

（郵送モニター 161 人 インターネットモニター 27 人）

3. 調査結果

今回の調査結果から、長崎市には「2つの世界遺産」があることは多くの市民のかたが知っているものの、昨年度調査同様に個々の構成資産の認知度に大きな差があり、世界遺産全体の価値の周知に加え、各構成資産の価値や魅力等の周知に努めていく必要があることが分かりました。

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業（以下、「産業革命遺産」という。）」については、9割近くのかたが長崎市内にあることを知っているものの、構成資産ごとにみると一番認知度の高い「端島（軍艦島）」と、一番認知度の低い「旧木型場」とは 66.7 ポイントの差があります。

このことから、非公開となっている三菱造船所の資産も含め認知度の向上を図るため、「産業革命遺産」のインフォメーション施設として各構成資産を紹介しているグラバー園内の旧三菱第 2 ドックハウス、「旧木型場」、軍艦島資料館における周知を強化する必要があります。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産（以下、「潜伏キリシタン関連遺産」という。）」については、今年世界遺産に登録されたことを 95%以上のかたが知っており、世界遺産登録に高い関心を持っていることが分かりました。しかし構成資産ごとにみると一番認知度の高い「大浦天主堂」と、一番認知度の低い「外海の大野集落」とは 55.2 ポイントの差があります。

このことから、「外海の大野集落」や「外海の出津集落」を含めた外海地区の構成資産の認知度の向上を図るため、「潜伏キリシタン関連遺産」のインフォメーション施設として各構成資産を紹介している外海歴史民俗資料館による周知を強化する必要があります。

両資産とも年代が低くなるにつれ知っている構成資産が少なくなる傾向にあることから、特に若い世代の認知度を高めるため、若い世代の多くが利用している SNS などにより情報発信を強化する必要があります。

また、「産業革命遺産」「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産に行った理由として 20 代は「世界遺産に興味があったから」と回答したかたが多く、30 代以上は「歴史的背景に興味があったから」と回答したかたが多く、20 代と 30 代以上とでは構成資産へ行く理由に違いがあるという結果が得られました。

一方で、「産業革命遺産」「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産に行かない理由として「世界遺産に興味がない」との回答が 33.3%と最も多い結果となりました。

このことから、各構成資産に来てもらうには、世界遺産に興味を持ってもらう必要があるため、構成資産の歴史的背景の説明などを含めた情報発信の必要があります。

本アンケートで寄せられたご意見を参考に今後とも長崎市にある「2 つの世界遺産」全体の価値に加え、各構成資産の価値や魅力等の理解を深めていただけるよう周知啓発に努めてまいります。

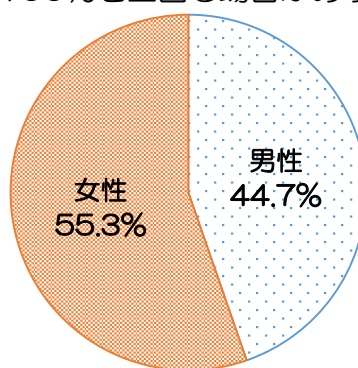
4. 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第 2 位を四捨五入して、小数点第 1 位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても 100%に合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、合計が 100%を上回る場合があります。

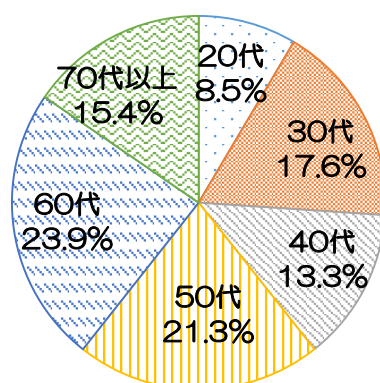
問1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答者数	割合
男性	84 人	44.7%
女性	104 人	55.3%
合計	188 人	100.0%



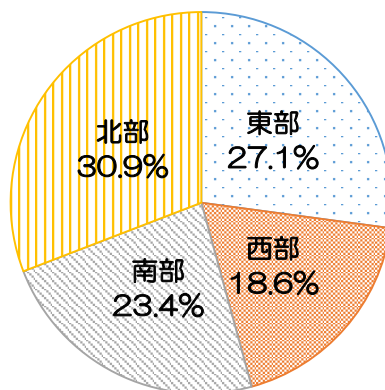
問2 あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20代	16 人	8.5%
30代	33 人	17.6%
40代	25 人	13.3%
50代	40 人	21.3%
60代	45 人	23.9%
70代以上	29 人	15.4%
合計	188 人	100.0%



問3 お住まいの町名を教えてください。

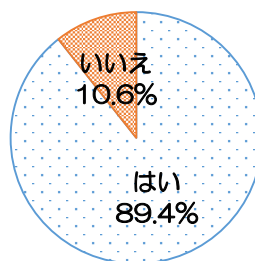
選択肢	回答者数	割合
東部	51人	27.1%
西部	35人	18.6%
南部	44人	23.4%
北部	58人	30.9%
合計	188人	100.0%



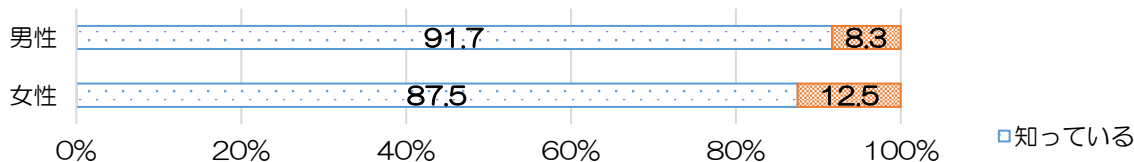
※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

問5 長崎市内に世界遺産の「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」があることを知っていますか。

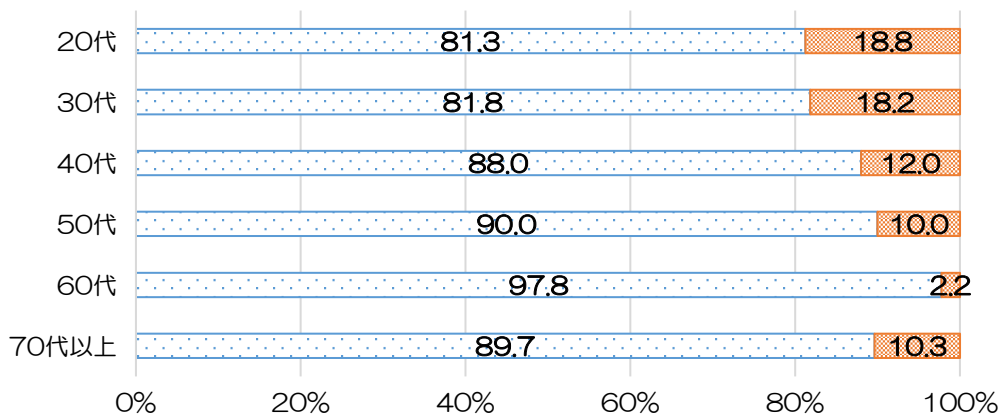
選択肢	回答者数	割合
はい	168人	89.4%
いいえ	20人	10.6%
合計	188人	100.0%



<性別割合>



<年代別割合>

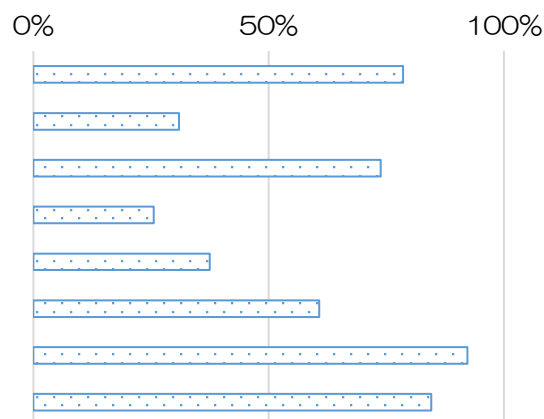


長崎市内に世界遺産の「産業革命遺産」があることを知っていると答えたかたの割合は89.4%でした。年代別で見ると、40代以上では90%近くが「知っている」と答えています。30代、20代と年代が低くなるにつれ「知らない」と答えたかたの割合が高いという結果になりました。

問6 「問5」で「はい」と回答したかたに質問です。

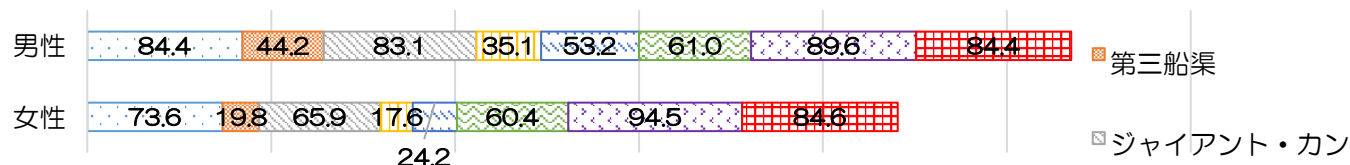
長崎市内にある「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」のうち知っている構成資産に○をつけてください。【複数回答可】

選択肢	回答者数	割合
小菅修船場跡	132人	78.6%
第三船渠	52人	31.0%
ジャイアント・カンチレバークレーン	124人	73.8%
旧木型場	43人	25.6%
占勝閣	63人	37.5%
高島炭坑（北溪井坑跡）	102人	60.7%
端島炭坑（軍艦島）	155人	92.3%
旧グラバー住宅	142人	84.5%

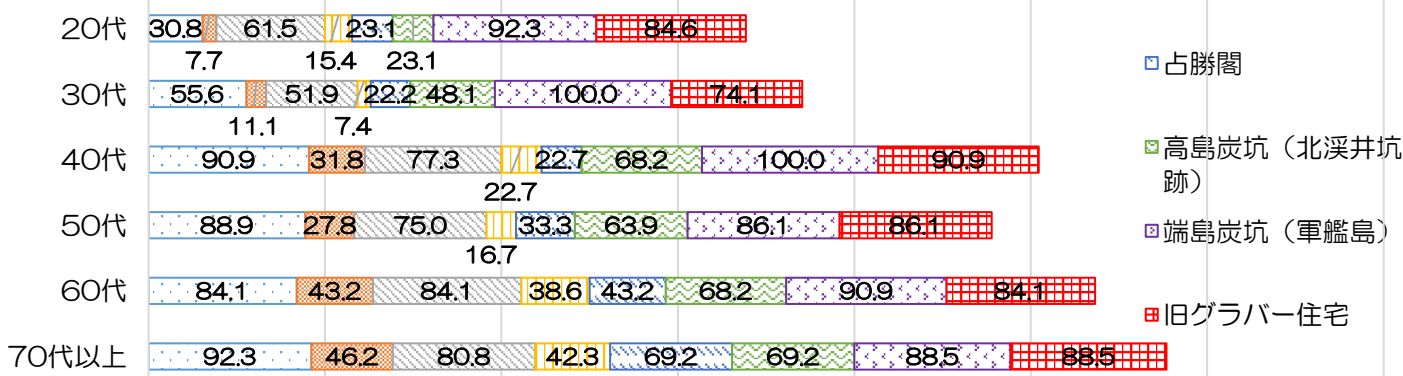


有効回答数=168人

<性別割合>



<年代別割合>



構成資産ごとに見ると、認知度にばらつきがありました。

「端島炭坑（軍艦島）（92.3%）」や「旧グラバー住宅（84.5%）」は昨年（「端島炭坑（軍艦島）（95.0%）」「旧グラバー住宅（86.3%）」）から引き続き認知度が高いものの、三菱長崎造船所構内にある稼働資産のうち「第三船渠（31.0%）」「旧木型場（25.6%）」「占勝閣（37.5%）」の認知度は低い結果となりました。昨年（「第三船渠（23.0%）」「旧木型場（18.6%）」「占勝閣（23.6%）」）と比較すると、認知度は上がってきたもののいまだ約3割にとどまっています。

性別でみると、全構成資産において男女とも「端島炭坑（軍艦島）」「旧グラバー住宅」の認知度は高いものの、女性において、三菱長崎造船所構内にある「第三船渠」

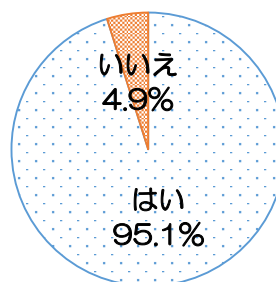
「旧木型場」「占勝閣」の認知度は低い結果となりました。

年代別では、20代の認知度が「端島炭坑（軍艦島）」「旧グラバー住宅」は高いもののその他は全体的に低い結果となりました。

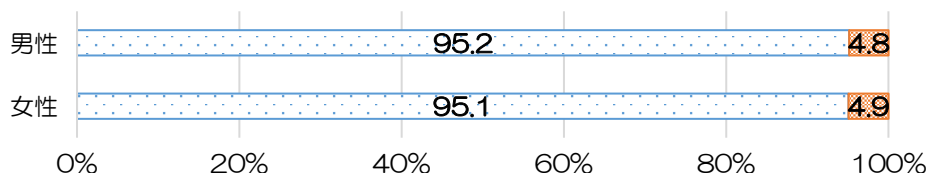
問7 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が今年世界遺産に登録されたことを知っていますか。

選択肢	回答者数	割合
はい	176人	95.1%
いいえ	9人	4.9%
合計	185人	100.0%

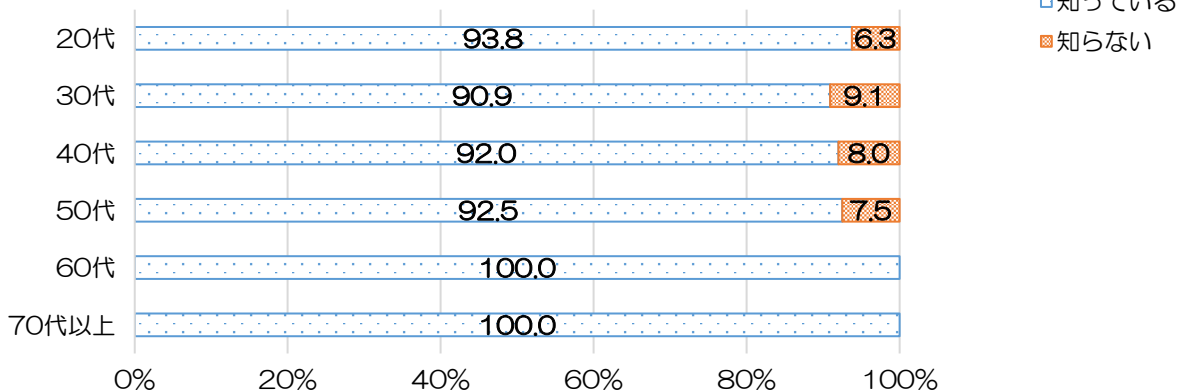
未回答=3人



<性別割合>



<年代別割合>



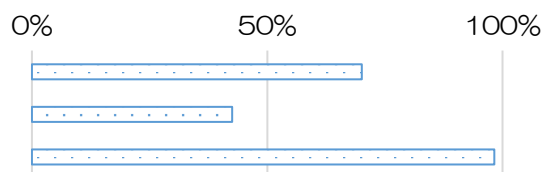
「潜伏キリシタン関連遺産」が今年世界遺産に登録されたことを95.1%のかたがご存知であり、世界遺産登録に高い関心をもっておられることが分かりました。

問8 「問7」で「はい」と回答したかたに質問です。

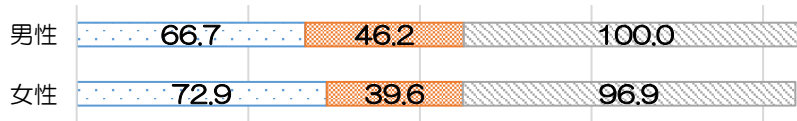
長崎市内にある「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」のうち知っている構成資産に○をつけてください。【複数回答可】

選択肢	回答者数	割合
外海の出津集落	122人	70.1%
外海の大野集落	74人	42.5%
大浦天主堂	171人	98.3%

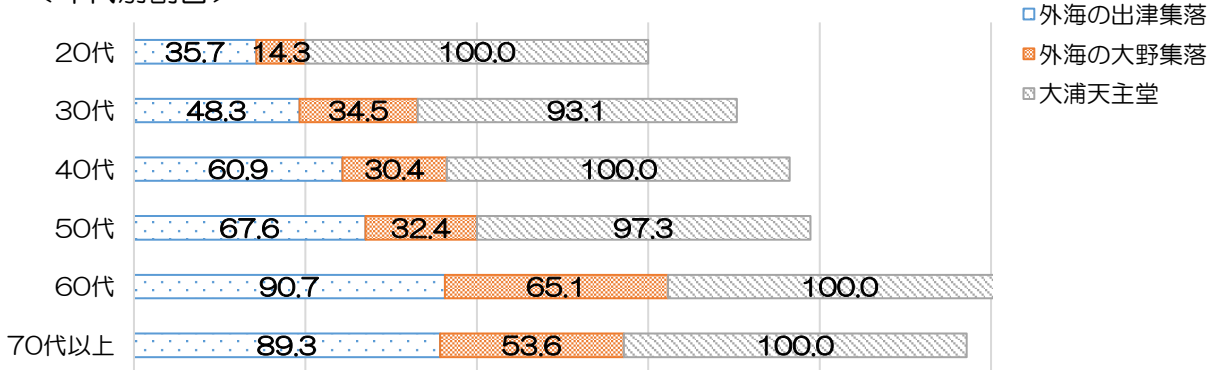
有効回答数=174人



<性別割合>



<年代別割合>



構成資産ごとに見ると「外海の出津集落 (70.1%)」「外海の大野集落 (42.5%)」「大浦天主堂 (98.3%)」という結果であり、観光地である「大浦天主堂」に比べて「集落」の認知度が低いことが分かりました。

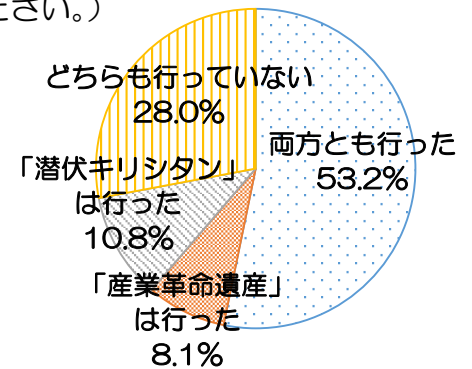
年代別にみると「大浦天主堂」は全ての年代で認知度が高いのに比べ「外海の大野集落」は全ての年代で認知度が低いことが分かります。

また、「外海の出津集落」は60代以上の認知度は高いものの、50代以下の認知度が低いことが分かります。

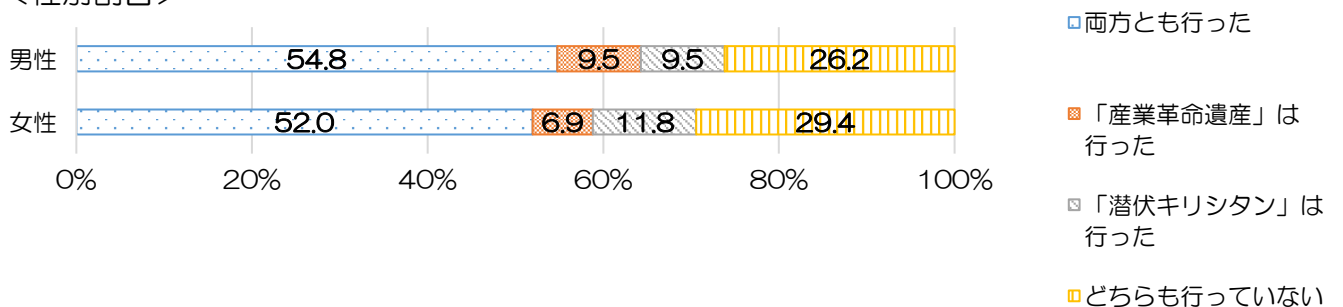
問9 長崎市内にある世界遺産の構成資産に実際に行ったことがありますか。(1カ所でも行ったことがあれば、「行った」をお選びください。)

選択肢	回答者数	割合
両方とも行った	99人	53.2%
「産業革命遺産」は行った	15人	8.1%
「潜伏キリシタン」は行った	20人	10.8%
どちらも行ってない	52人	28.0%
合計	186人	100.0%

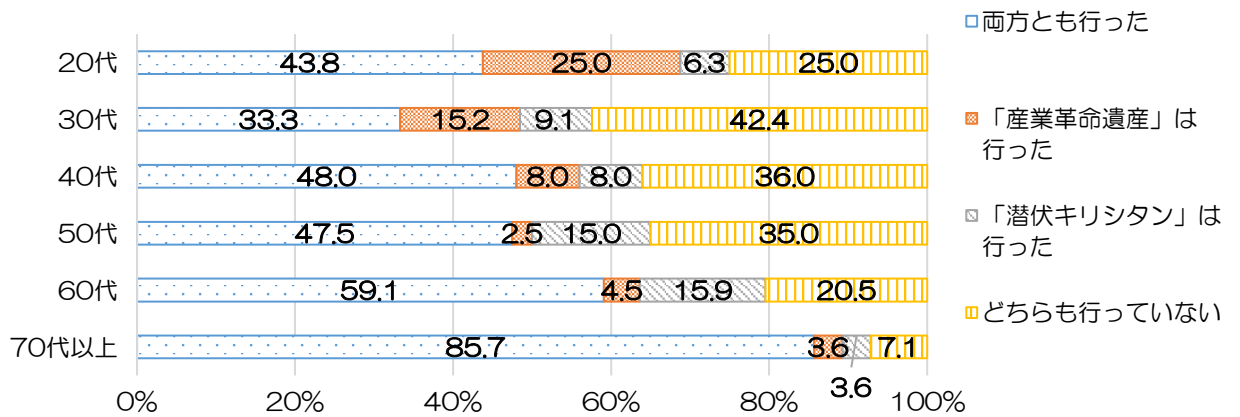
未回答=2人



<性別割合>



<年代別割合>



「産業革命遺産」と「潜伏キリシタン関連遺産」に行ったことがあるかを尋ねたところ、「両方とも行った（53.2%）」『産業革命遺産』は行った（8.1%）『潜伏キリシタン』は行った（10.8%）」と答えたかたが 72.1%で、実際に世界遺産の構成資産に行った事がある人が7割を超えていることが分かります。

しかしながら、「どちらも行ってない」と答えたかたが 28.0%おり、性別でみると女性（29.4%）の割合が、年代別でみると30代（42.4%）の割合が高くなっています。

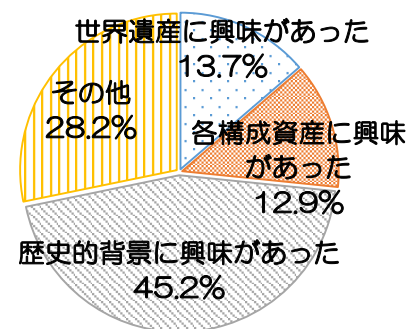
年代別でみると、70代以上では「両方とも行った」かたの割合が85.7%と高い結果になったのに比べ、50代以下の世代ではいずれも50%以下でした。

問10 「問9」で「両方とも行った」「産業革命遺産」は行った」「潜伏キリシタン」は行った」と回答したかたに質問です。

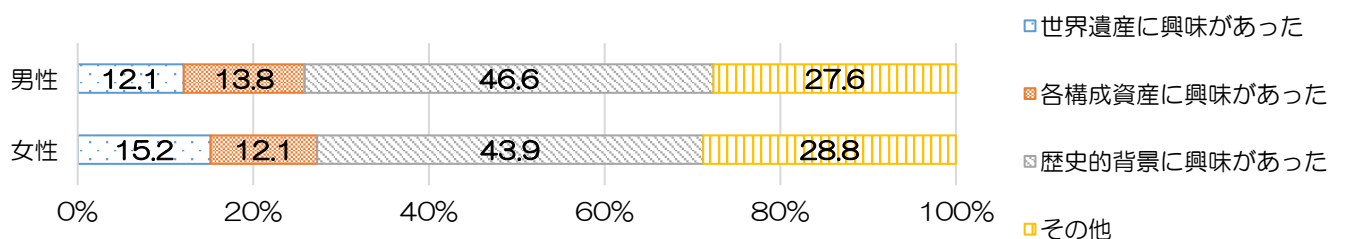
各構成資産に行ったご理由をお選びください。

選択肢	回答者数	割合
世界遺産に興味があった	17人	13.7%
各構成資産に興味があった	16人	12.9%
歴史的背景に興味があった	56人	45.2%
その他	35人	28.2%
合計	124人	100.0%

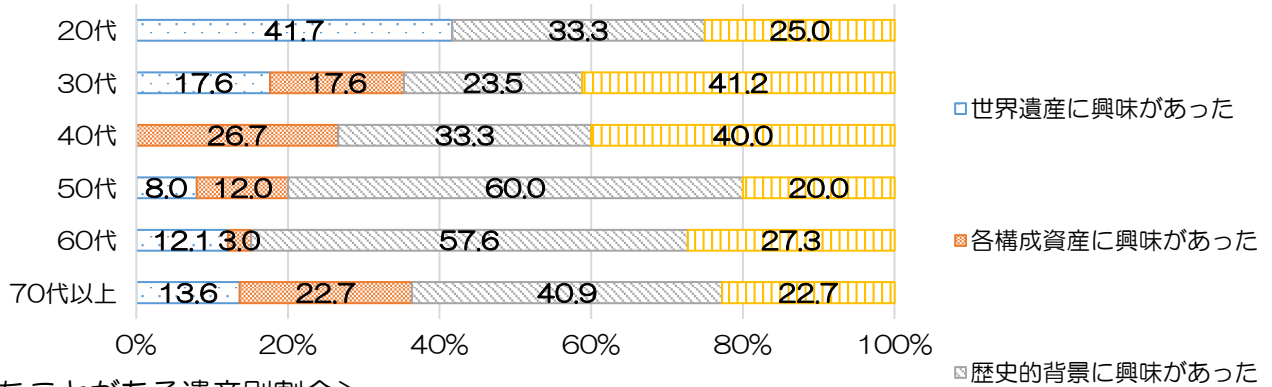
未回答・無効=10人



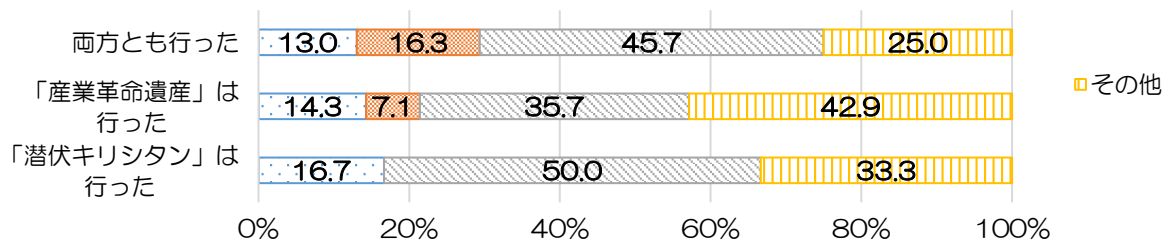
<性別割合>



<年代別割合>



<行ったことがある遺産別割合>



<その他の回答>

【両方とも行った】

- ・観光（5件）
- ・中高生の孫が帰省したから
- ・仕事（2件）
- ・学校や会社関係の行事
- ・ウォーキング企画で行った
- ・登録前に行った（8件）
- ・数年前に行った
- ・近くに住んでいたから（2件）
- ・市民として知っておきたかった
- ・せっかく長崎に住んでおり、気軽に行けると思った
- ・遺産としての意識は無かったが、その施設に興味があった

【「産業革命遺産」は行った】

- ・観光
- ・仕事
- ・三菱重工に勤めており、興味があった
- ・近くに住んでいたから（2件）

【「潜伏キリシタン」は行った】

- ・観光
- ・数年前に行った
- ・近くに住んでいたから
- ・カトリック信者のため
- ・潜伏キリシタンについての論文を書いているため

構成資産に行った理由として、「歴史的背景に興味があったから（45.2%）」と回答したかたが一番多い結果となりました。

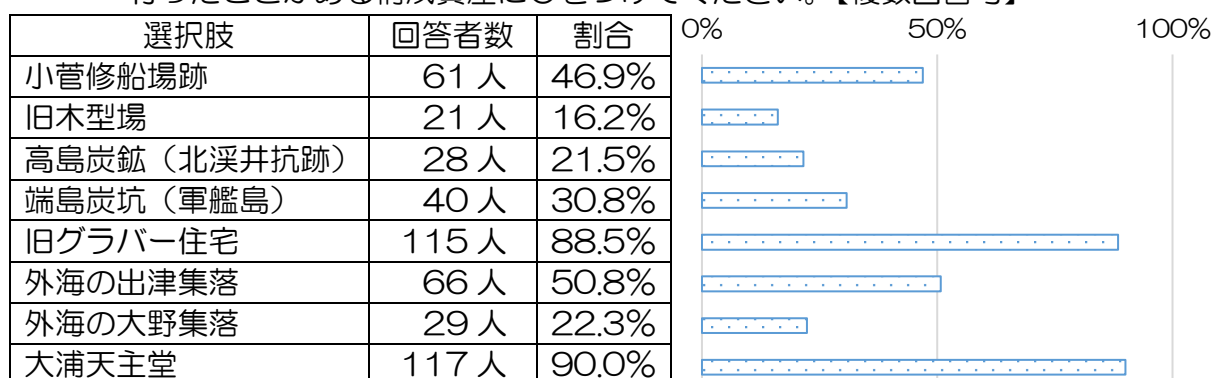
年代別にみると、20代の約4割が「世界遺産に興味があったから」と回答しているのに対し、30代以上はいずれも「歴史的背景に興味があったから」と回答しており、構成資産に足を運ぶ理由に違いがあることが分かりました。

行った遺産ごとの割合をみると、いずれも「歴史的背景に興味があったから」の割合が高いことも分かりました。

また、行った理由のその他の回答については、「勤務先に資産があった」「近くに住んでいたから」などの意見が目立ち構成資産が市民にとって身近な存在であることが分かりました。

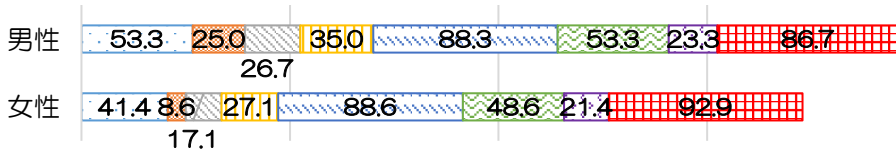
問 11 「問9」で「両方とも行った」「『産業革命遺産』は行った」「『潜伏キリシタン』は行った」と回答したかたに質問です。

行ったことがある構成資産に○をつけてください。【複数回答可】



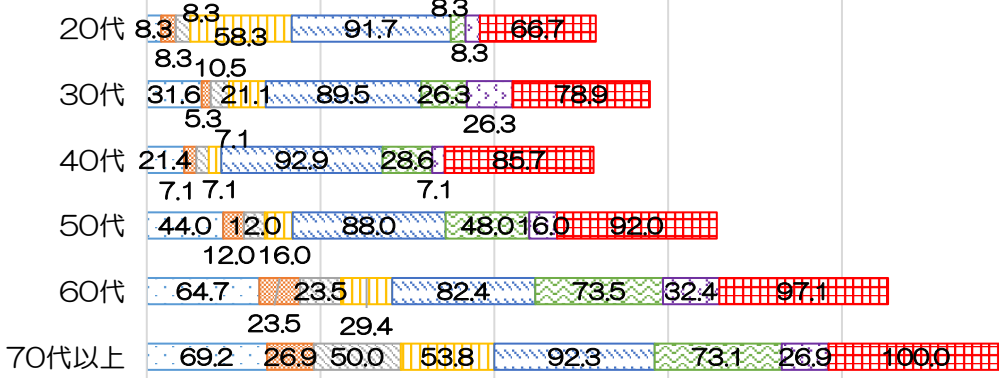
有効回答数=130人

<性別割合>



- 小菅修船場跡
- 旧木場型
- 高島炭鉱（北溪井坑跡）
- 端島炭坑（軍艦島）
- 旧グラバー住宅
- 外海の出津集落
- 外海の大野集落
- 大浦天主堂

<年代別割合>

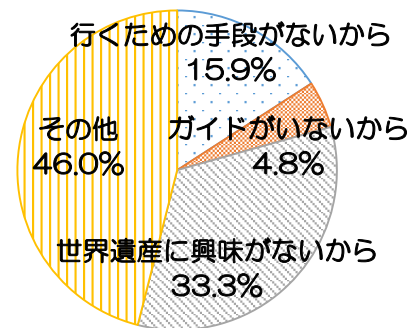


構成資産ごとにみると、市内中心部にあり観光地として知られることから、「大浦天主堂（90.0%）」「旧グラバー住宅（88.5%）」に実際に行ったかたが多く、性別ごと、年代ごとに見ても割合が高いことがわかります。

一方で、「端島炭坑（軍艦島）（30.8%）」「外海の大野集落（22.3%）」「高島炭坑（北溪井坑跡）（21.5%）」「旧木場型（16.2%）」に実際に行ったかたは少なく、特に「端島炭坑（軍艦島）」については認知度が高いにもかかわらず、行った割合は低いとの結果となりました。

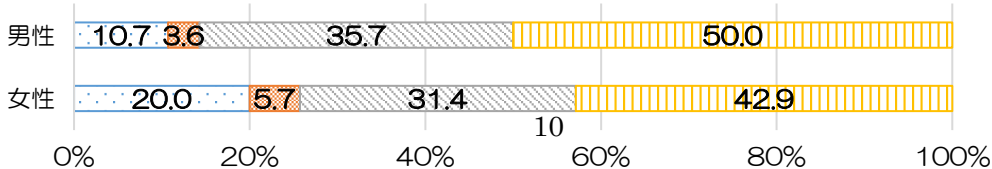
問 12 「問9」で『産業革命遺産』は行った』『潜伏キリシタン』は行った」「どちらも行っていない」と回答したかたに質問です。
各構成資産に行かない理由をお選びください。

選択肢	回答者数	割合
行くための手段がないから	10人	15.9%
ガイドがないから	3人	4.8%
世界遺産に興味がないから	21人	33.3%
その他	29人	46.0%
合計	63人	100.0%

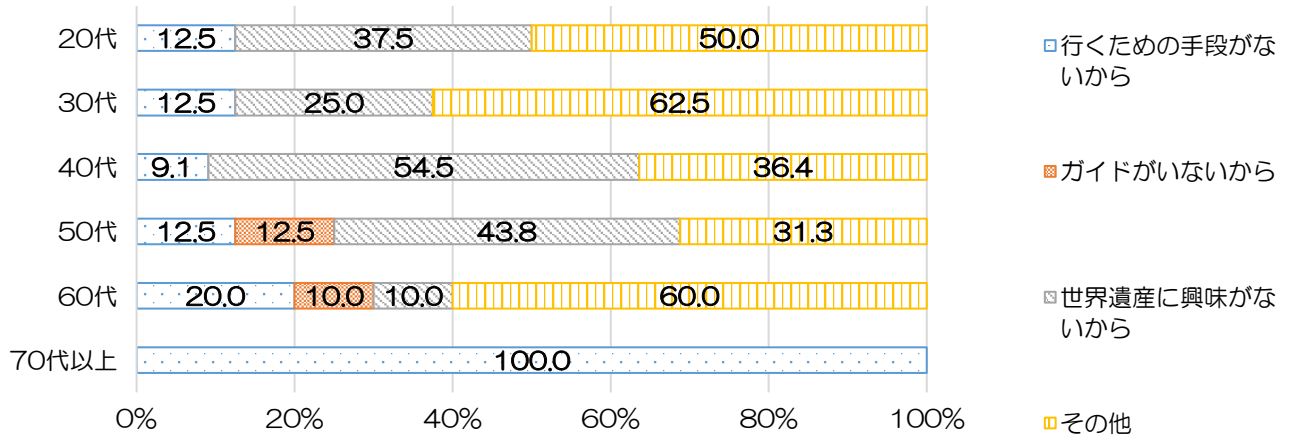


未回答・無効=24人

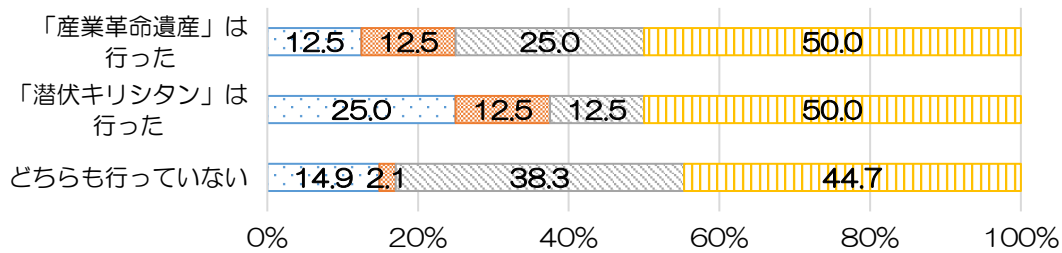
<性別割合>



<年代別割合>



<行かなかった理由の割合>



<その他の回答>

【「産業革命遺産」は行った】と回答したかた

- ・ 行く機会がない
- ・ 場所が分からない
- ・ いつでも行けると思っている
- ・ 行く予定

【「潜伏キリシタン」は行った】と回答したかた

- ・ 行く時間がない (2件)
- ・ 金銭的・時間的に余裕がない
- ・ 若い世代は、あまり興味関心がない

【どちらも行ってない】と回答したかた

- ・ 行く時間がない (6件)
- ・ 行く機会が無い (4件)
- ・ いつでも行けると思っている (3件)

- 障害者なので行けない場所が多い
- 地元の人が行く所ではないと思っている
- 直接行かなくてもインターネット等で情報が得られればいかなと思っている
- 予約するのが面倒
- 知らない
- 世界遺産になる前に行ったから（2件）
- 行く予定（2件）

各構成資産に行かない理由として、「世界遺産に興味がないから（33.3%）」との回答が一番多い結果となりましたが、「行くための手段がないから（15.9%）」「ガイド（各構成資産の説明を行う）がないから（4.8%）」については、昨年度のアンケート結果（行くための手段がないから：17.5%、ガイド（各構成資産の説明を行う）がないから：9.7%）と比較すると低い割合となっており、ガイド配置やアクセスの改善が図られた結果が見られました。

さらに、年代別にみると、「ガイド（各構成資産の説明を行う）がないから」と回答したかたはどの年代でも少なく、20代、30代、40代、70代以上は回答者が0という結果となっています。

なお、70代以上においては「行くための手段がないから」と回答したかたが100%と、交通手段がないことを理由に各構成資産に行っていないことが分かりました。

行った遺産ごとの割合でみると、『産業革命遺産』は行った（「潜伏キリシタン」は行っていない）と回答したかたは、「世界遺産に興味がないから」との回答が他の選択肢と比べて高い結果となっています。

『潜伏キリシタン』は行った（「産業革命遺産」は行っていない）と回答したかたは、「行くための手段がないから」との回答が他の選択肢と比べて高い結果となっています。

「どちらも行っていない」は「世界遺産に興味がないから（38.3%）」という理由が多く、また「その他（44.7%）」では、「行く時間がない」「行く機会がない」「いつでも行けると思っている」などの回答が多く得られました。